

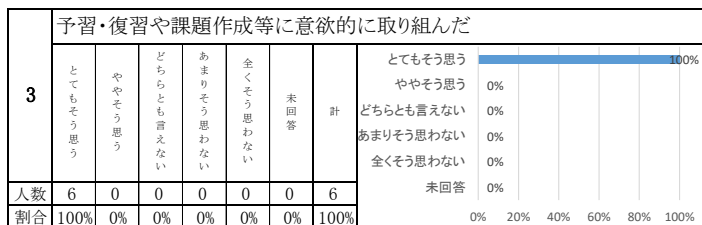
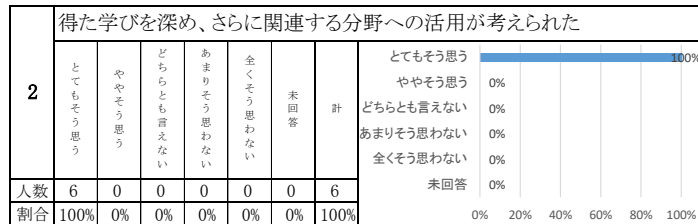
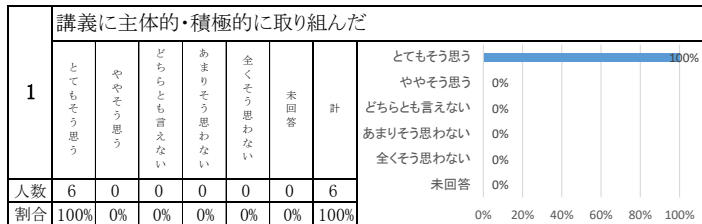
令和4年度 授業評価(講義) 集計結果

分野: 助産学分野 期: 通年

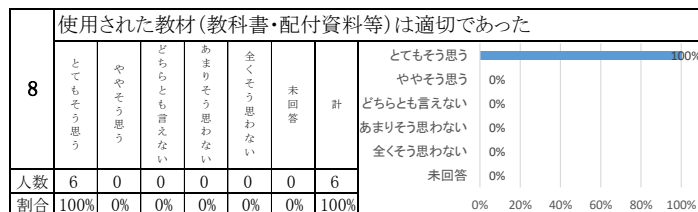
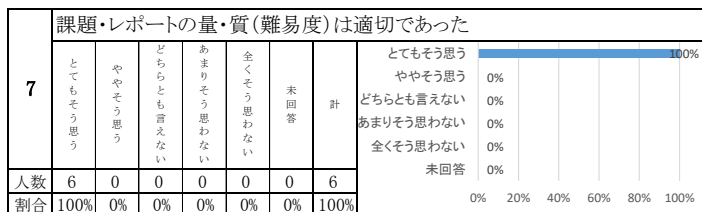
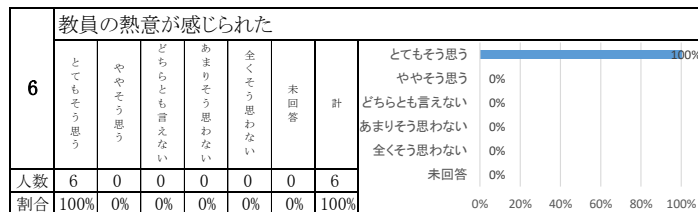
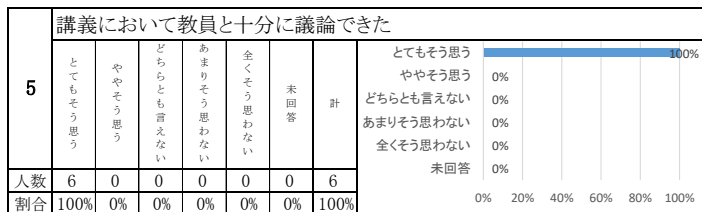
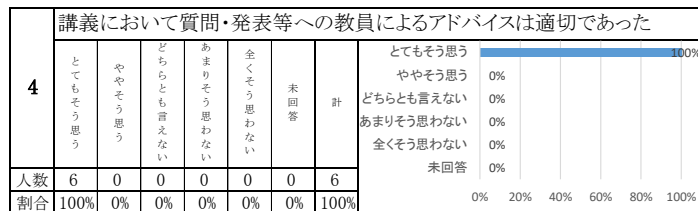
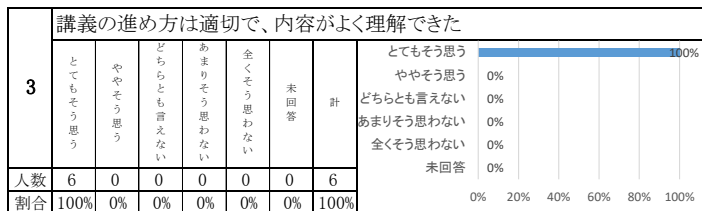
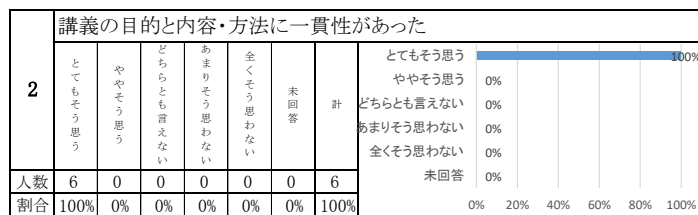
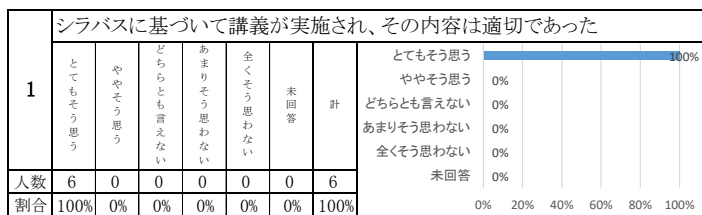
科目: 助産管理論

履修者	6
回答者	6
回答率	100.0%

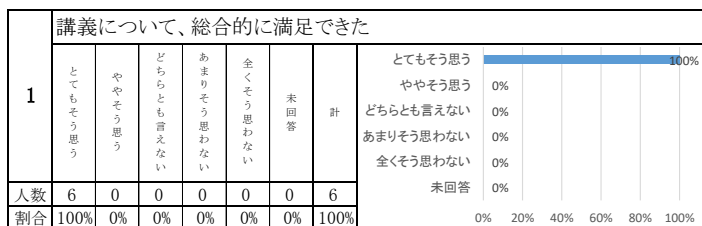
学習への取り組み



内容および進め方について



総合



教員コメント

講義の中では、積極的に意見を述べ合うことができていました。実際に助産管理業務に携わっている助産師から講義を受けたことで、より実践をイメージすることにつながっていたように思います。

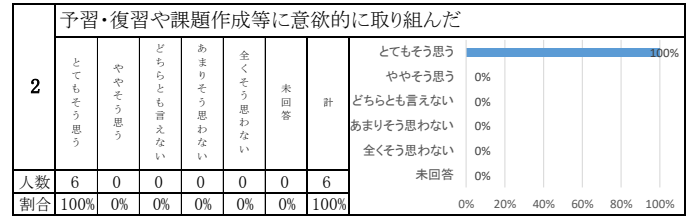
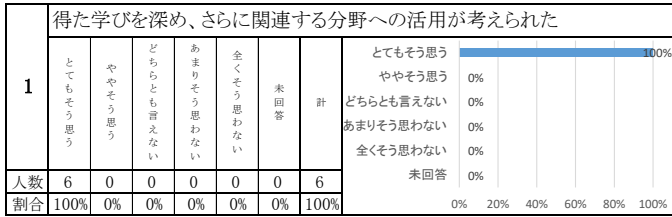
令和4年度 授業評価(実習) 集計結果

分野: 助産学分野 期: 通年

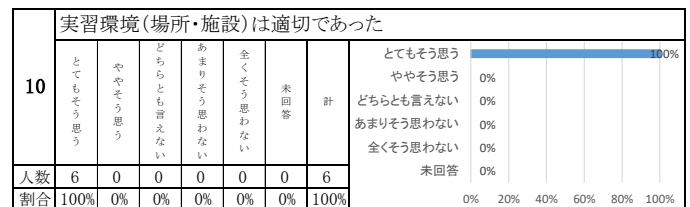
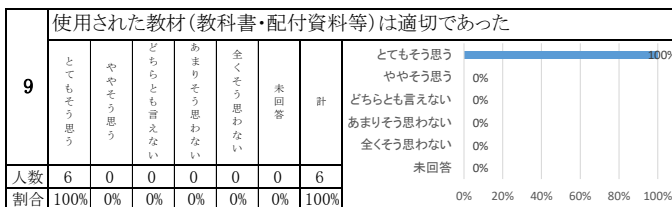
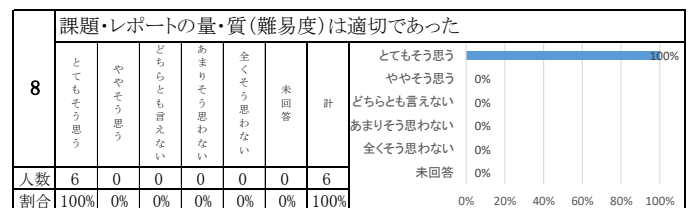
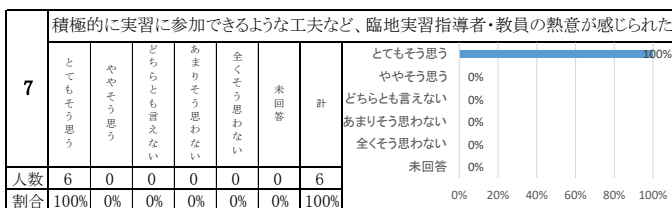
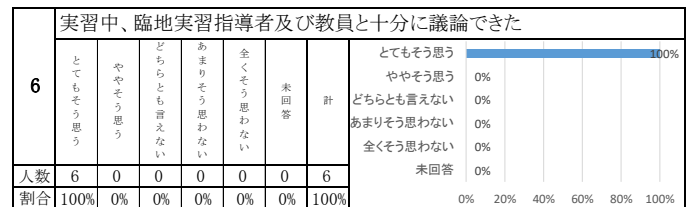
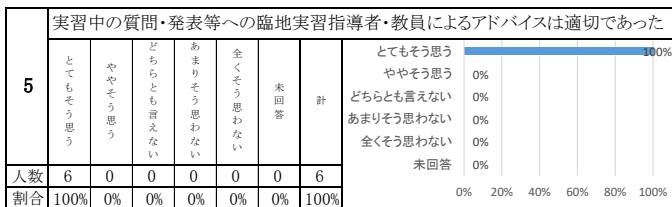
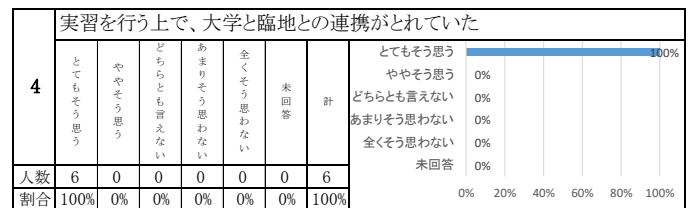
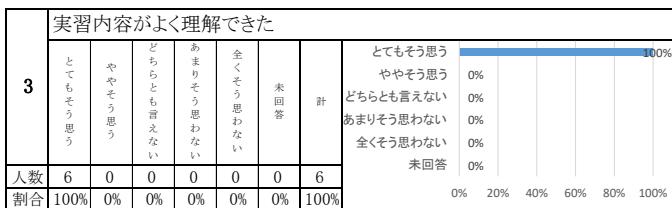
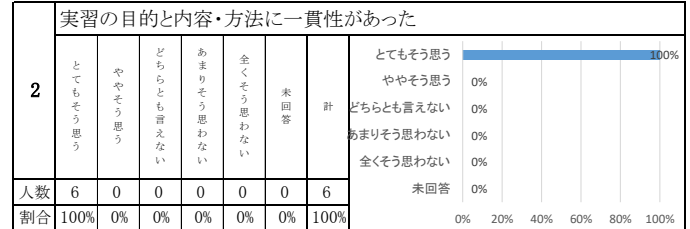
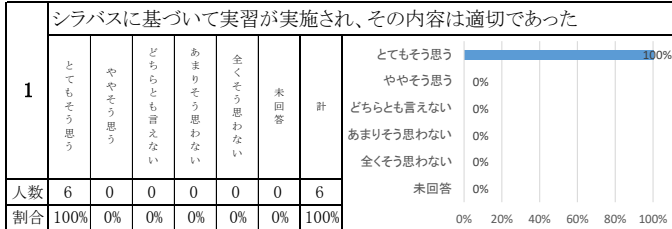
科目: 助産実習Ⅱ(分娩期)

履修者	6
回答者	6
回答率	100.0%

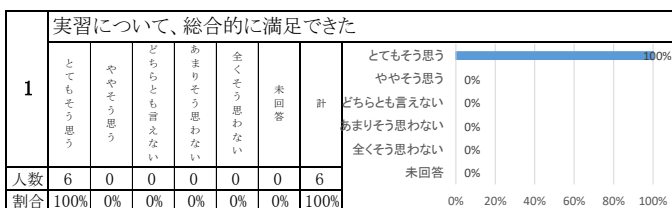
学習への取り組み



内容および進め方について



総合



教員コメント

実習お疲れ様でした。夜間・休日等実習が長時間に及ぶ日もありましたが、非常に熱心に実習に取り組むことができていました。分娩進行中は時として急変が起こる危険もあり、母児2人の生命を預かる助産師としての責任感を、身をもって体験できたことと思います。この経験を、ぜひ臨床現場で生かしていただきたいと思います。

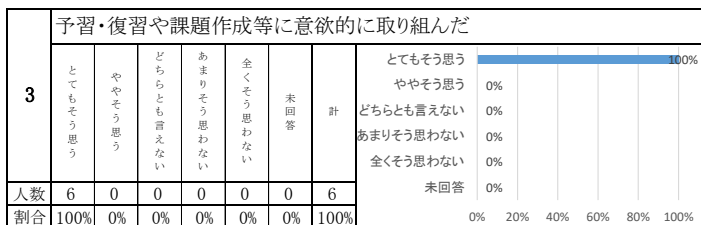
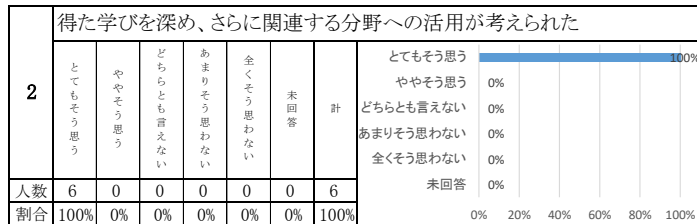
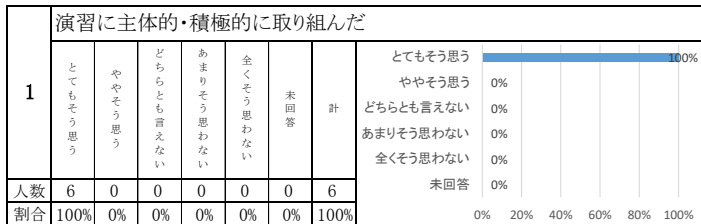
令和4年度 授業評価(演習) 集計結果

分野: 助産学分野 期: 通年

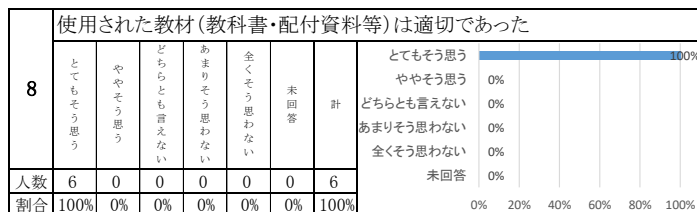
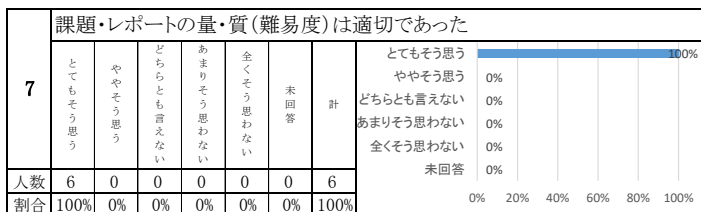
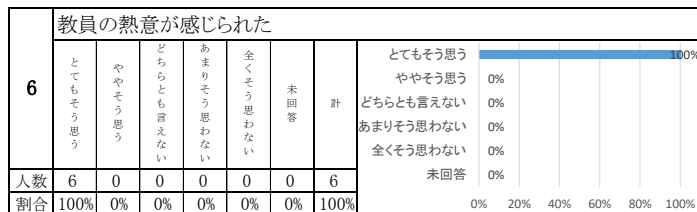
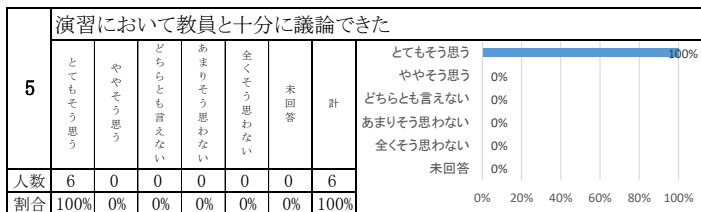
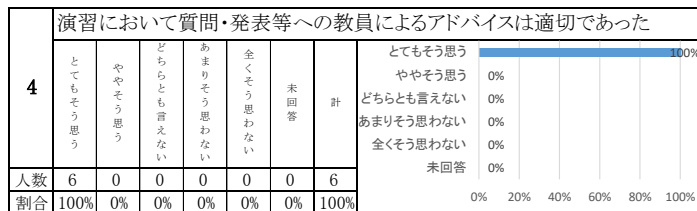
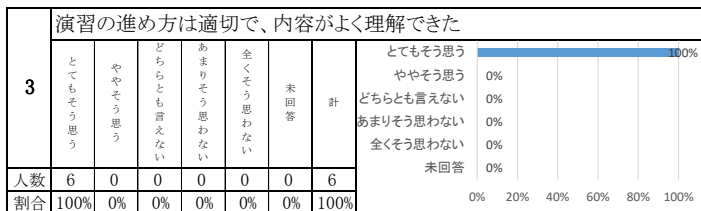
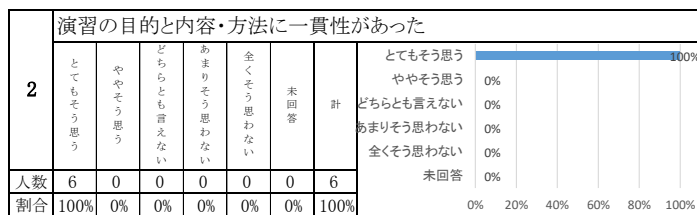
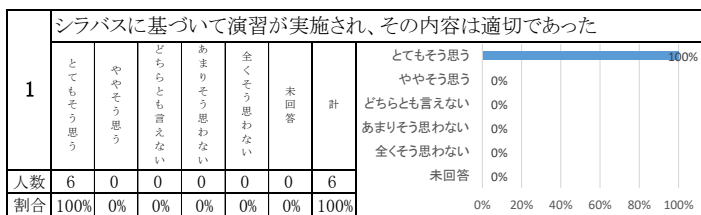
科目: 助産学演習II

履修者	6
回答者	6
回答率	100.0%

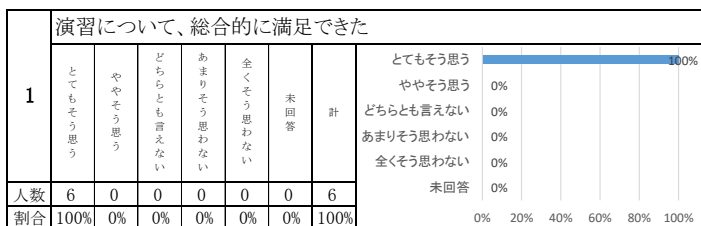
学習への取り組み



内容および進め方について



総合



教員コメント

本科目は、周産期にある女性のセルフケア能力を向上させるための支援について探求することを目的に、助産学特講IIと連動させて授業を展開しました。自ら助産院を建てるとしたらどのような助産院にしたいか、妊婦に必要な栄養素を考え1日の献立を考える等、様々な演習に院生自ら主体的に取り組み、成果を発表してくれました。今後も皆様にとって有意義な学びとなるように授業内容を検討して参ります。

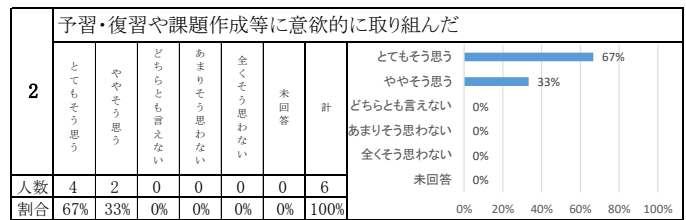
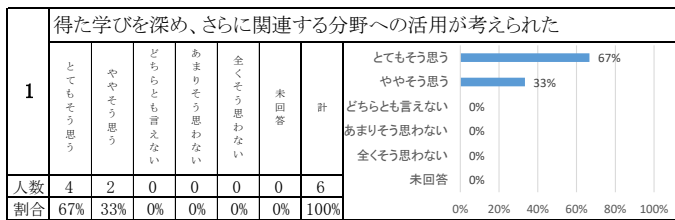
令和4年度 授業評価(実習) 集計結果

分野: 助産学分野 期: 通年

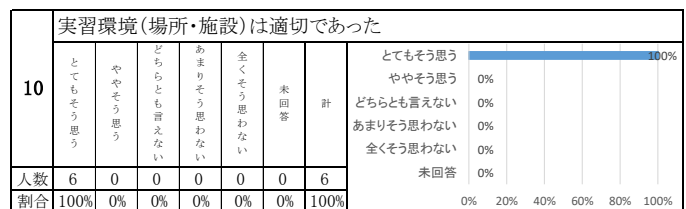
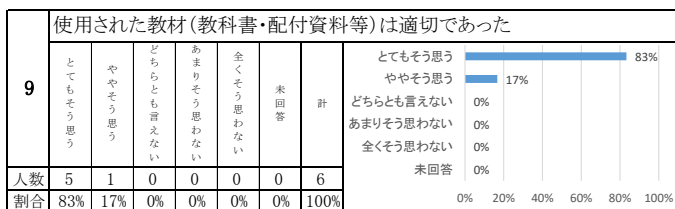
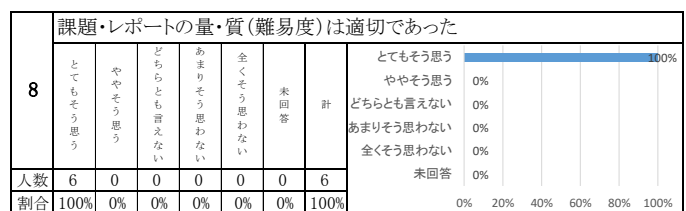
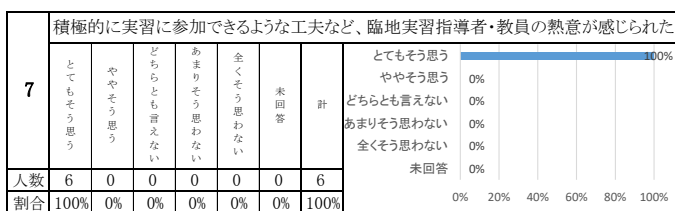
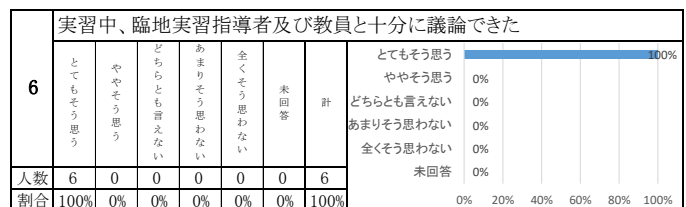
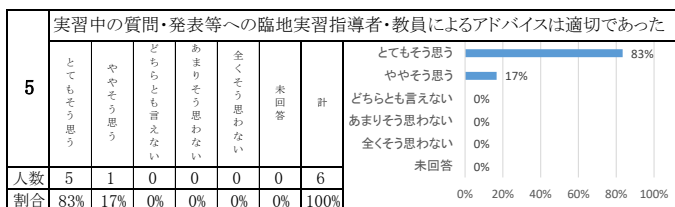
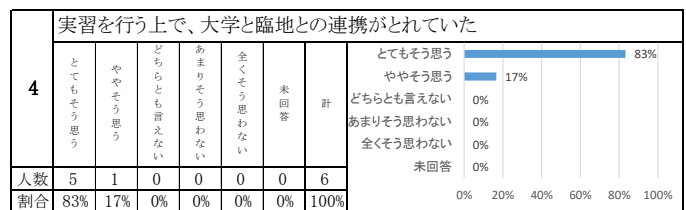
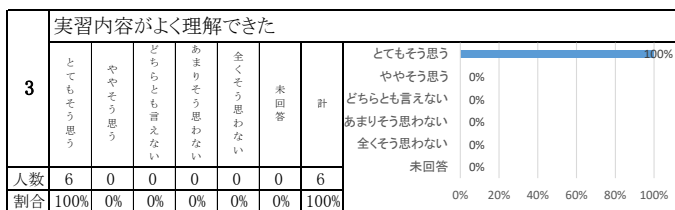
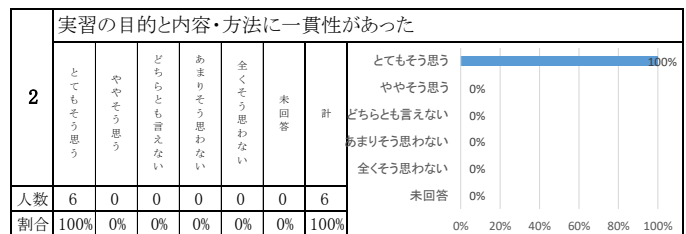
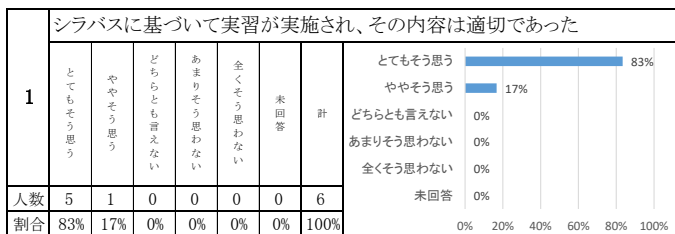
科目: 助産学実習 I

履修者	6
回答者	6
回答率	100.0%

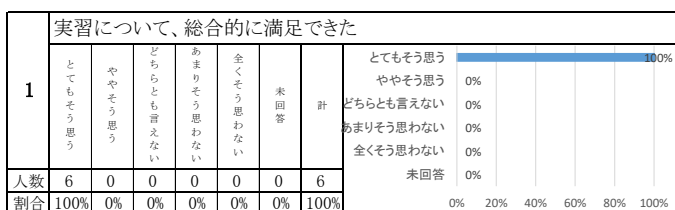
学習への取り組み



内容および進め方について



総合



教員コメント

履修お疲れ様でした。ウィメンズヘルス論とも連動し、小学校での思春期教室を実施していただきましたが、企画から運営に至るプロセスを通じて、皆さんの熱意や成長をひしと感じた科目でした。助産師として就職した後も、母親教室や育児教室等を実施する機会があると思いますので、今回の経験をぜひ生かして下さい。本教室は小学校の先生からも大変好評でしたので、今後も継続する予定です。どうもありがとうございました。

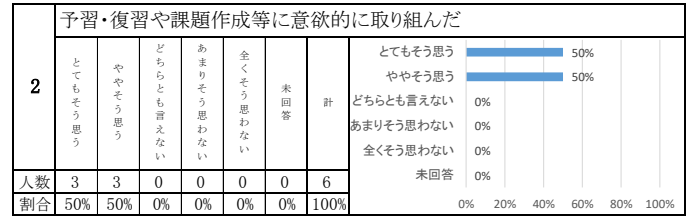
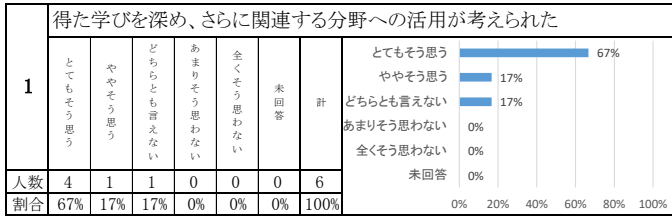
令和4年度 授業評価(実習) 集計結果

分野: 助産学分野 期: 通年

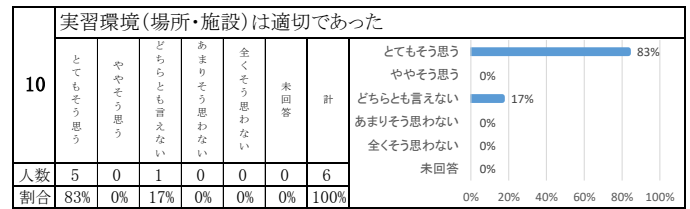
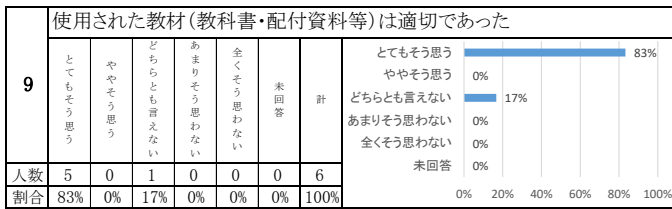
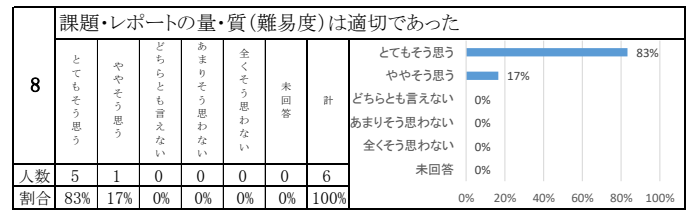
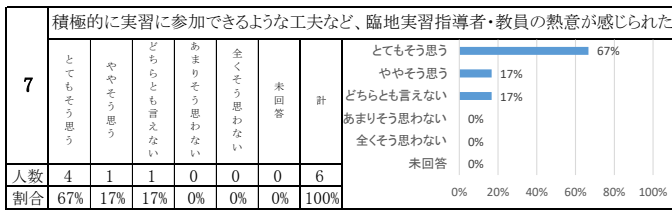
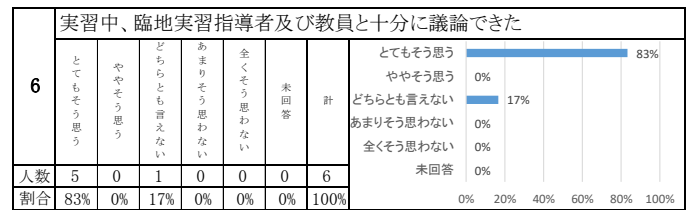
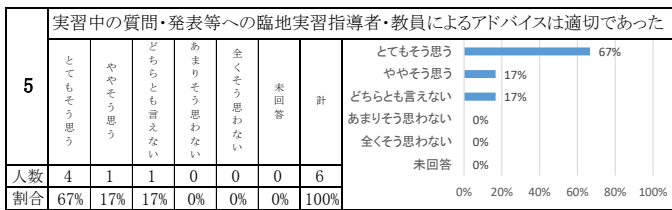
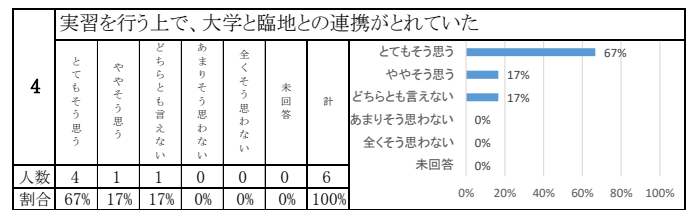
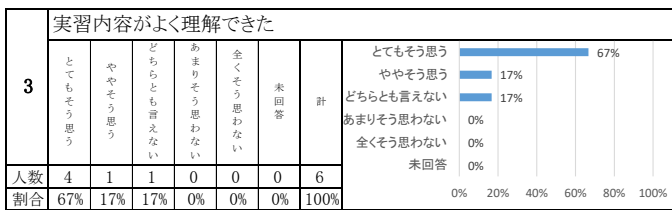
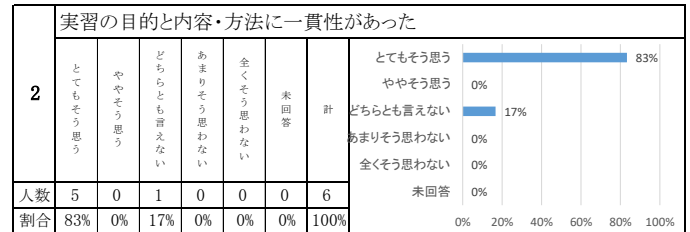
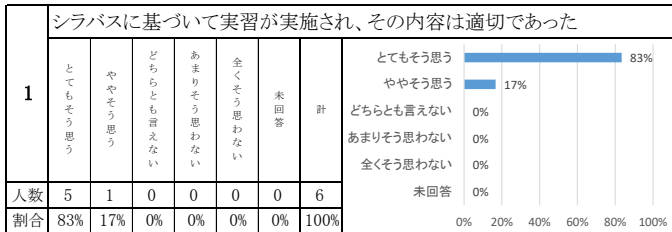
科目: 助産学実習Ⅱ

履修者	6
回答者	6
回答率	100.0%

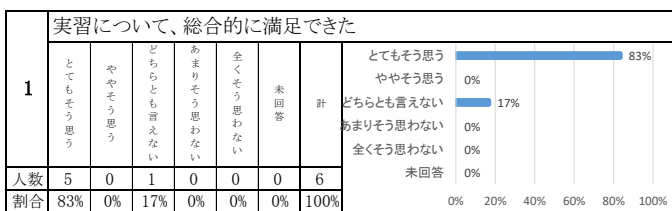
学習への取り組み



内容および進め方について



総合



教員コメント

履修お疲れ様でした。各院生が興味・関心のある実習を選択し、自主的に学ぶことができていたと思います。

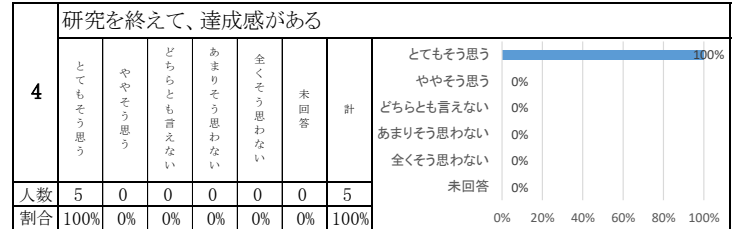
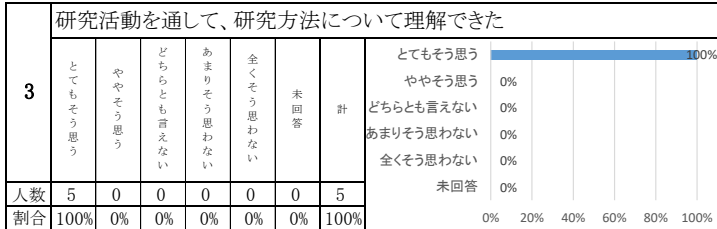
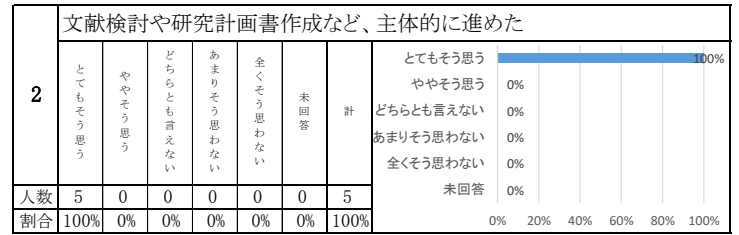
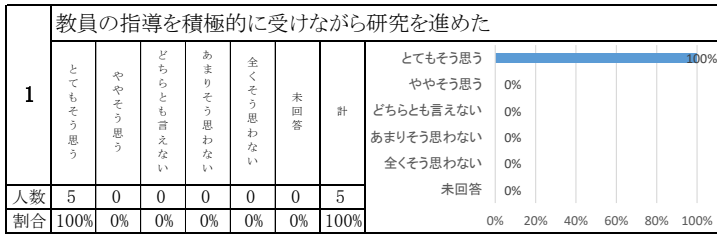
令和4年度 授業評価(課題研究・研究(論文)) 集計結果

分野: _____ 共通科目 _____ 期: _____ 通年 _____

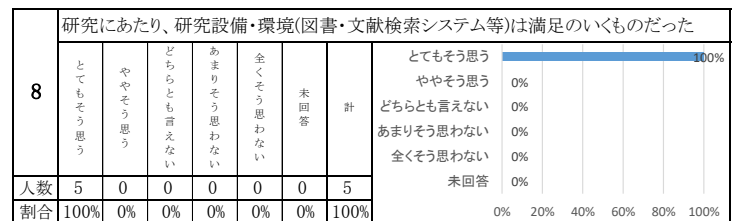
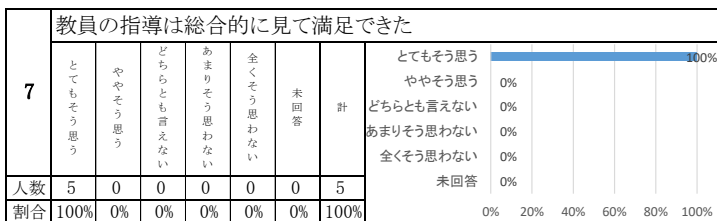
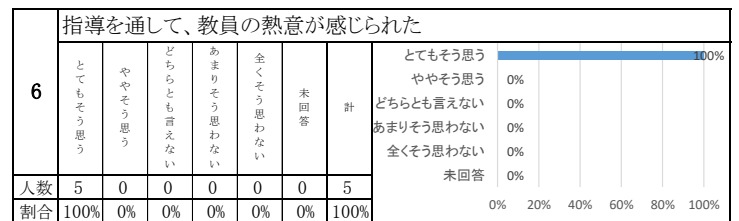
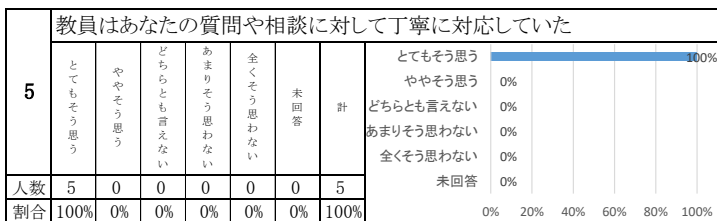
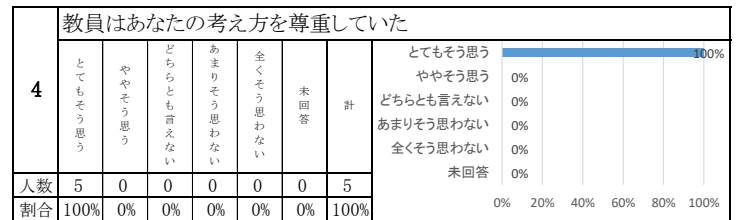
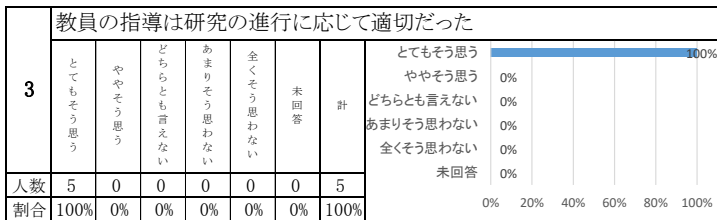
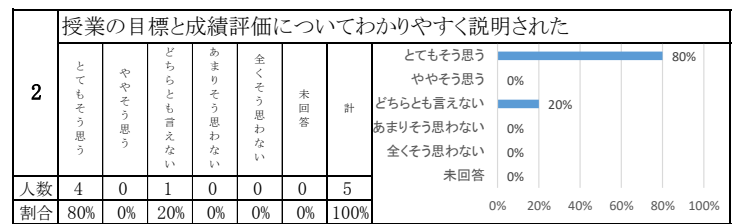
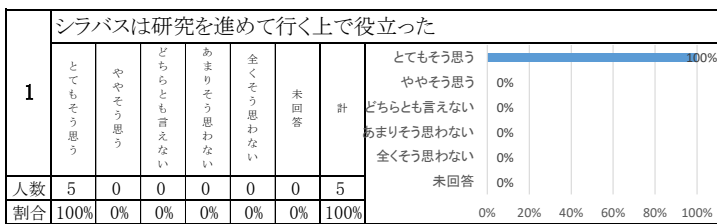
科目: 課題研究 I (研究計画書作成)

履修者	6
回答者	5
回答率	83.3%

学習への取り組み



内容および進め方について



教員コメント

- ・皆さん非常に熱心に取り組むことができていました。課題研究Ⅱに向けて頑張ってください。(新谷)
- ・授業評価へのご協力ありがとうございました。研究は、計画書作成でその8割が達成されるといわれますので、概ね良い評価を受けて安心いたしました。ただ、授業の目標と成績評価に関する説明では不十分な点があったようでした。今後も授業内容の構成を含め検討を重ねてまいりますので、皆様からの忌憚のないご意見を是非タイムリーに授業の中でお聞かせいただくと嬉しいです。(相馬)

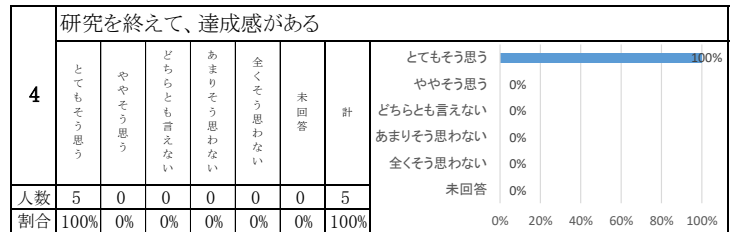
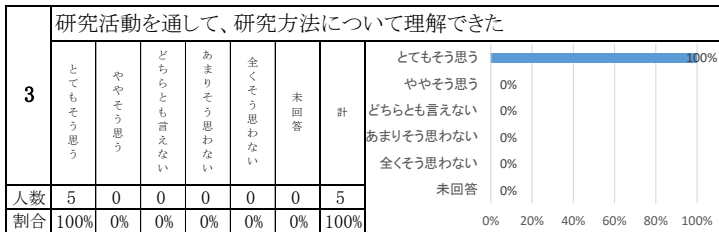
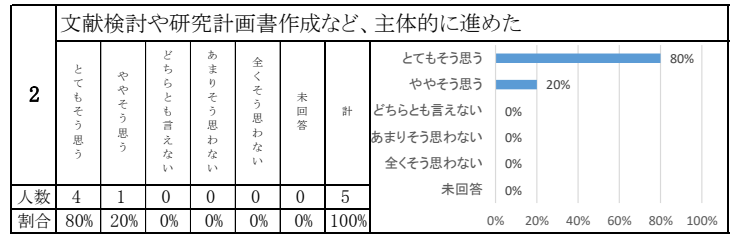
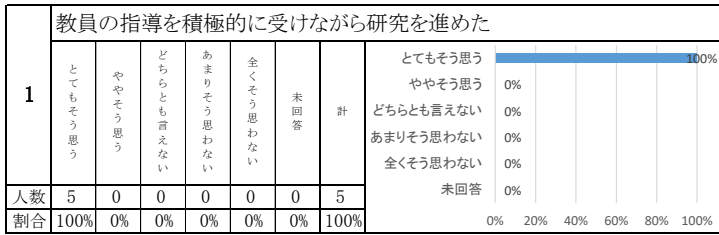
令和4年度 授業評価(課題研究・研究(論文)) 集計結果

分野: _____ 共通科目 _____ 期: _____ 通年 _____

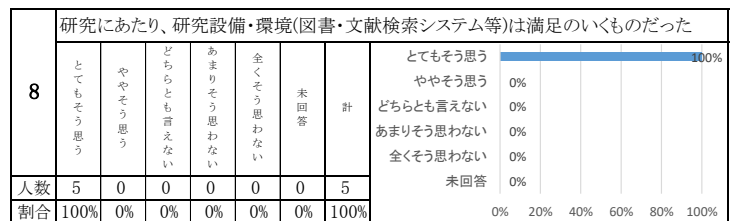
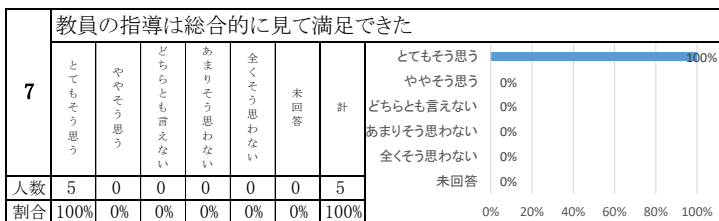
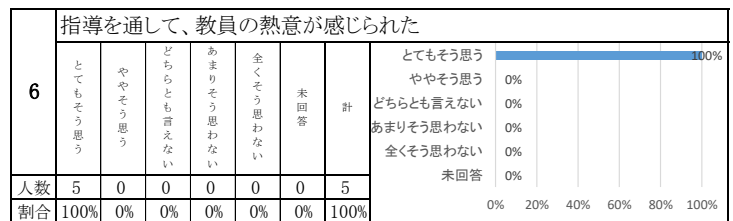
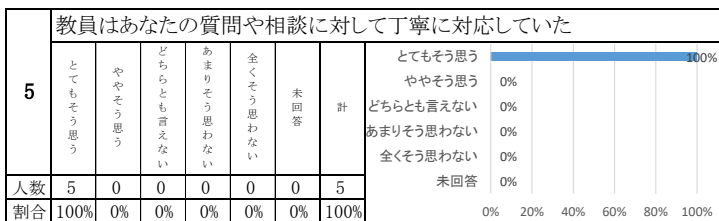
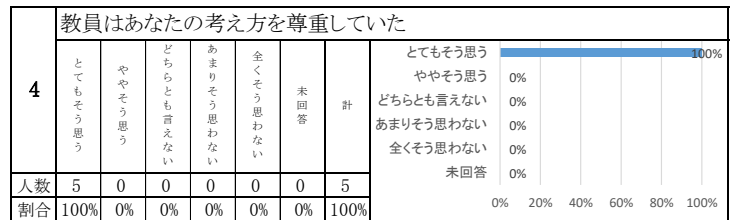
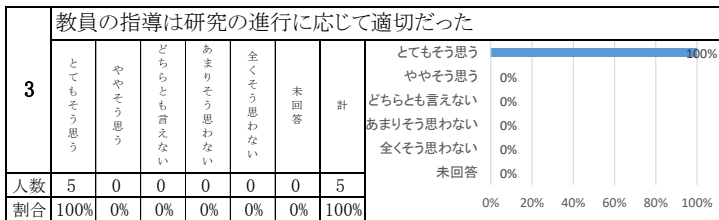
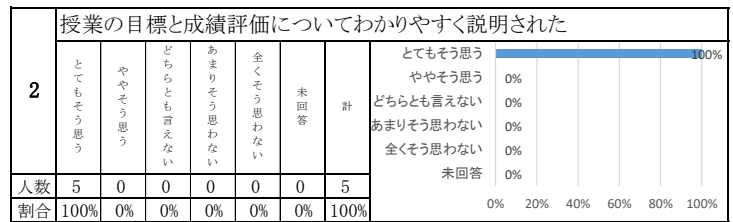
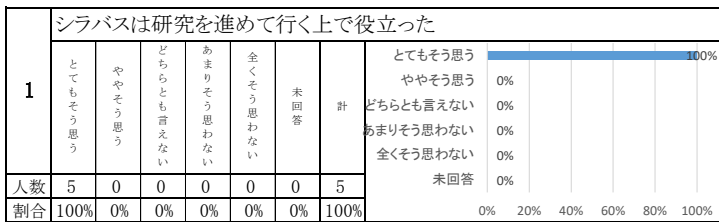
科目: _____ 課題研究II(論文作成) _____

履修者	7
回答者	5
回答率	71.4%

学習への取り組み



内容および進め方について



教員コメント

- 皆さんの熱意あふれる取り組みに、指導教員としてとても励まされ、多くの学びを得ることもできました。ありがとうございました(志賀)。
- 皆さん非常に熱心に取り組むことができていました。本研究での成果を今後の臨床現場や研究活動において、是非生かしていただきたいと思います。(新谷)

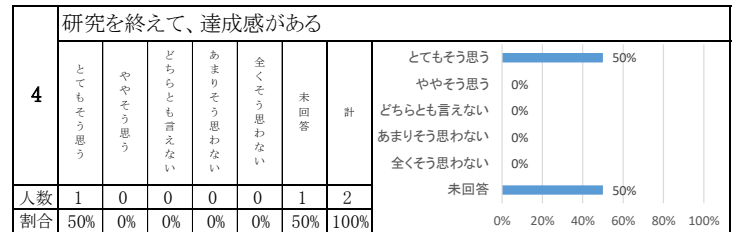
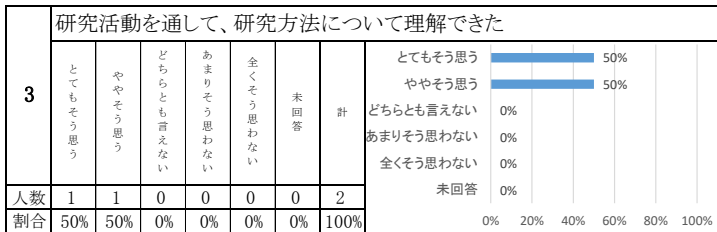
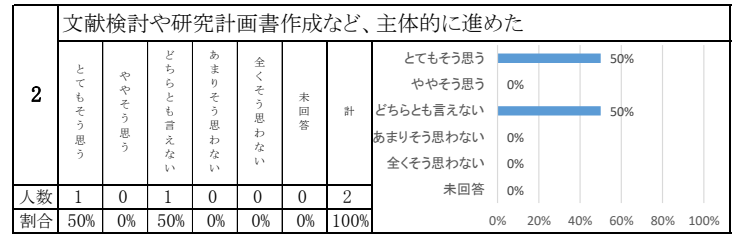
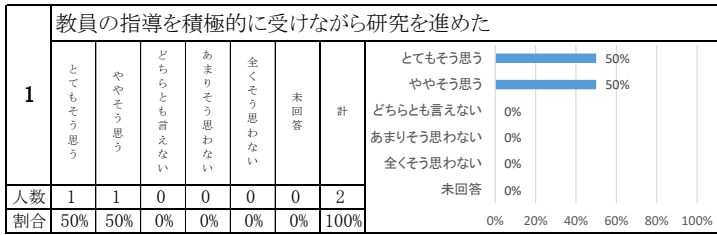
令和4年度 授業評価(課題研究・研究(論文)) 集計結果

分野: _____ 共通科目 _____ 期: _____ 通年 _____

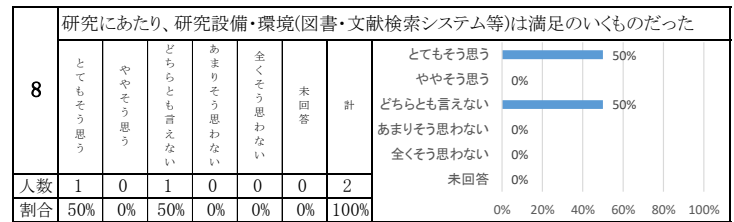
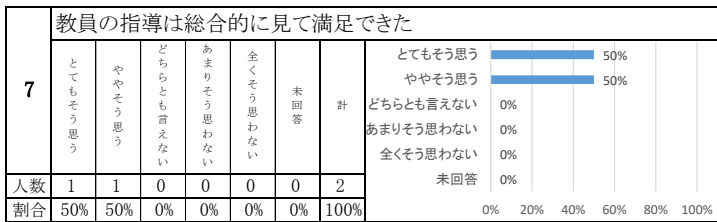
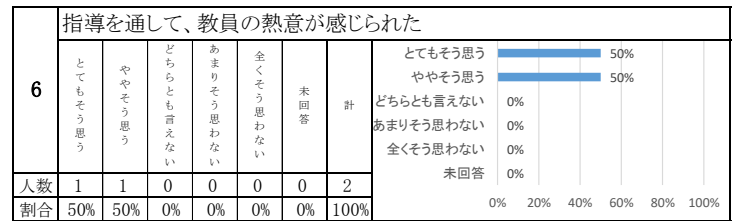
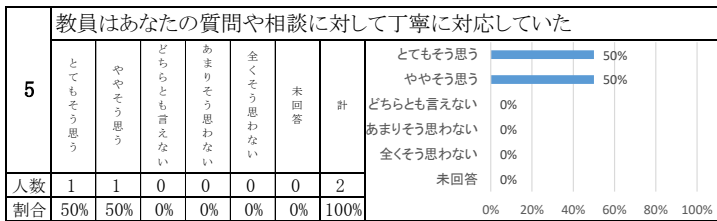
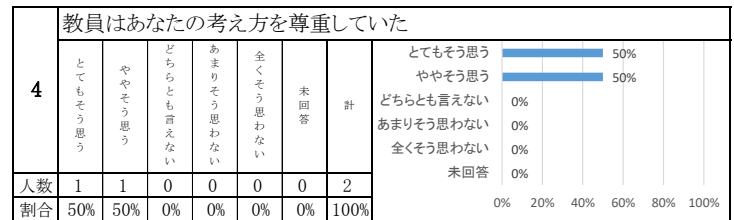
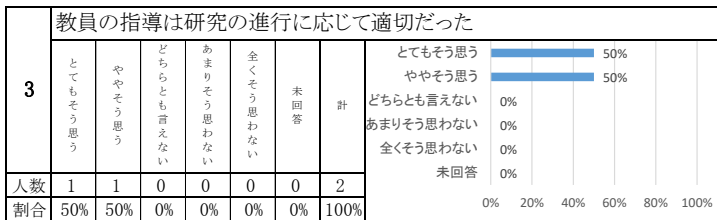
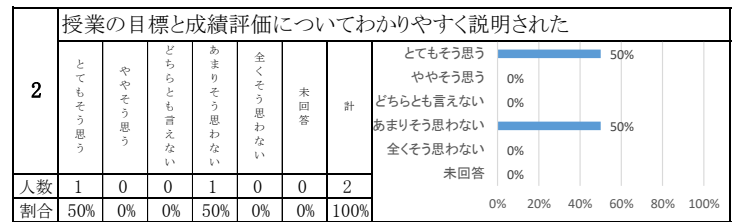
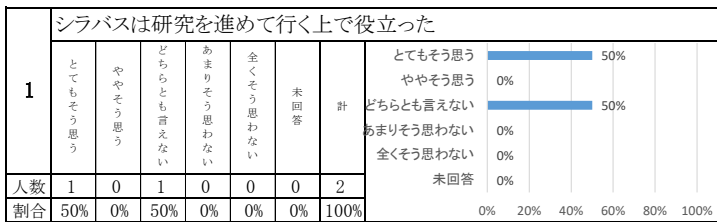
科目: _____ 特別研究 I (文献検討) _____

履修者	3
回答者	2
回答率	66.7%

学習への取り組み



内容および進め方について



教員コメント

- ・文献検討は研究を進めるにあたり非常に重要なステップです。これからも学び続けて下さい。(山本)
- ・臨床実践の疑問から研究として明らかにしたいことを主体的に探究し、検討を行うことができたとと思います。この1年の自己の努力を認めてほしいと思います。また、質的研究の探求のプロセスは様々な方向性があると考えます。このようなことを学生の皆さんとともに検討できるように研鑽を積んでまいります。(東)

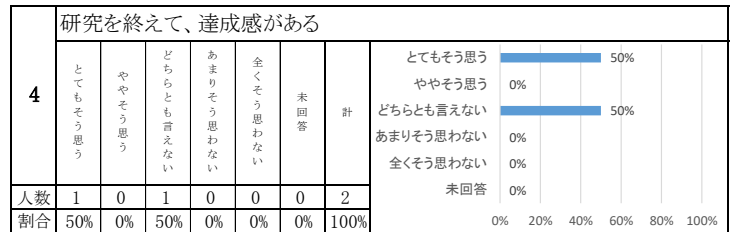
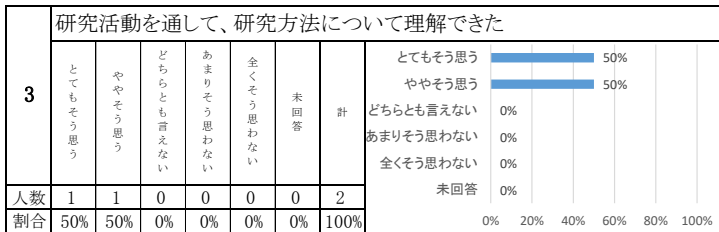
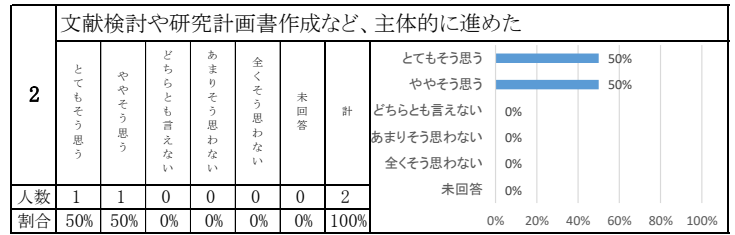
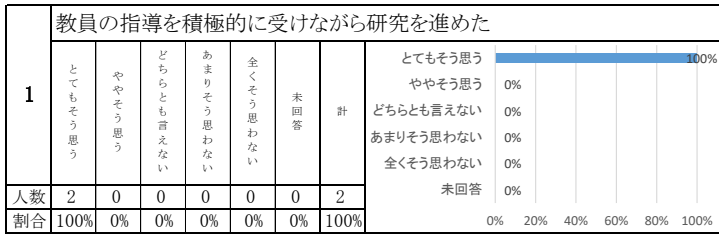
令和4年度 授業評価(課題研究・研究(論文)) 集計結果

分野: 共通科目 期: 通年

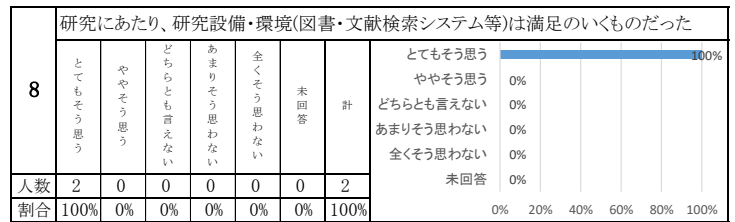
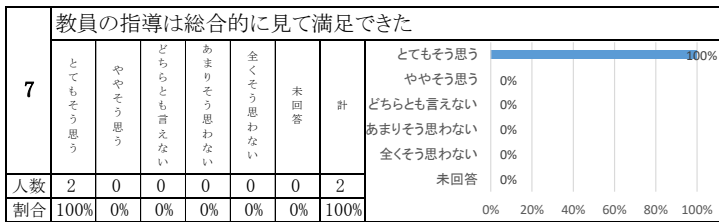
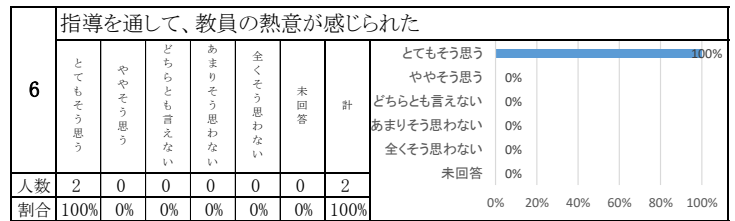
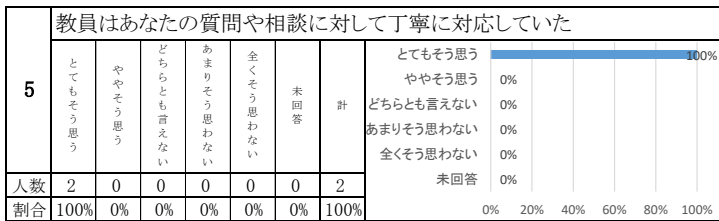
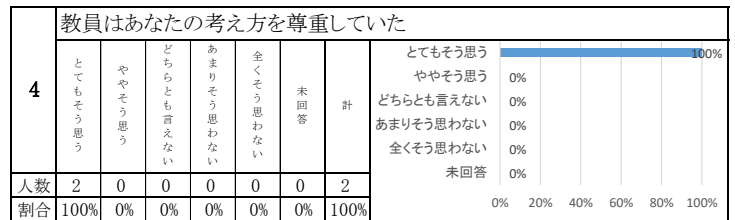
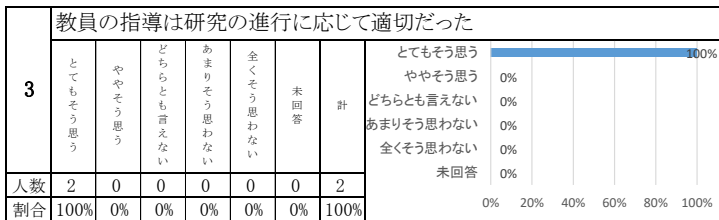
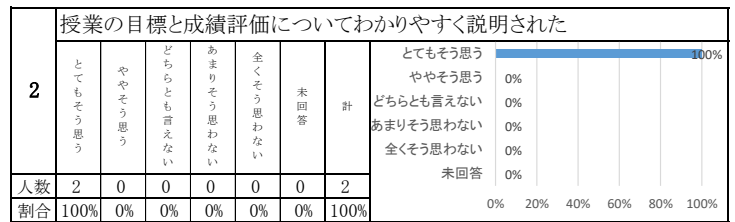
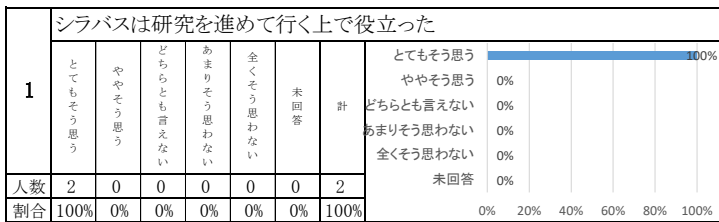
科目: 特別研究Ⅱ(研究計画書作成)

履修者	3
回答者	2
回答率	66.7%

学習への取り組み



内容および進め方について



教員コメント

- ・主体的・計画的に進めて研究計画書の作成に至ったと思います。今後は研究の実施に向けて、計画書をさらに具体的にしていって下さい。(山本)
- ・看護が科学であるために、研究はとても大切な営みです。実践における事実を確かなものに仕立てるプロセスであり、看護が社会にとって有用であることを位置づけるひとつであると考えます。質的研究は研究者がツールの一部となるため、自己の考えの傾向や言葉の使い方などにも向き合うことが求められます。楽なことではありませんが、研究を通じて新たな自己や知の発見につながるかもしれないこと、またそのプロセスの苦しさや楽しさを共有できるように研鑽を積んでまいります。今後も頑張ってください。期待しています。(東)